

### まちづくり推進事業の発展を

伊藤 彰 議員  
(未来フォーラム)

#### ◆まちづくり推進事業について

平成17年から実施している「まちづくり推進事業」は、市内各地で住民の地域への想い・情熱を受けて素晴らしい結果と実績を生み出しつつあると思えます。その成果を踏まえて今後の課題を考えると、継続的に事業を進めていくためには三つの問題があります。一つには「資金の問題」、二つには「人の問題」、さらに三つには「広報・宣伝の問題」です。これらの視点を踏まえて、執行部の考えをお聴かせください。

①まちづくり推進事業を起してきた目的は、また目的を達成する意義は何か ②まちづくり事業の現状と成果、課題についてどう考えるか ③3年間助成制度の理由は ④4年目以降のあるべき姿についてどう考えていますか

**市長** ①先人が培ってきた歴史と文化を受け継ぎ、さらに発展させることが大切である。そして、狭山市に住んでよかった、住み続けたいと思える人々を増やし、郷土を愛する意識を醸成していくことが肝要と考え、地域で活躍できる人材の発掘と育成、地域文化の継承と振興が大切であると感じている。

**市民部長** ②防犯・環境保全、子育て支援などの活動、歴史や文化の発掘、マップづくり、祭りなど地域の資源や特性



地区センター事業  
「灯の川2010」

を生かした事業が活発に展開されている。今後は助成制度も含め広く周知し、市民が自ら企画・運営していける提案型の事業の推進に努めていきたい。

③事業が軌道に乗るまでの立ち上げの期間ととらえている。④各地区の実情なども踏まえ、改めて事業を検証することも必要と考えている。

#### ◆ノーマライゼーションのまちづくりについて市長はどう考えますか

狭山市駅西口再開発地区に福祉物販コーナーと障害者の相談所の設置を求めます。狭山市の中心市街地に、同施設を設ける事でノーマライゼーションのまちづくり、障害者にとつて住み良い環境整備につながります。市の考えは、

**福祉部長** 公益施設への物販コーナー設置は、営業時間の設定や人員の確保、経営母体の選定などの課題がある。このほか、施設の効果的なレイアウトや消防法など関係法令の問題があることから、現在検討を行っている。また、再開発事業区域内への相談所の設置は、個人情報保護のための相談スペースが必要であり、事業地内への設置は現状では困難と考え、駅周辺施設も含めたエリアでの検討を予定している。

### ユースプラザの廃止を求める

三浦 和也 議員  
(未来フォーラム)

#### ◆ユースプラザを「事業仕分け」

①「働く青少年のための施設」という本来の目的に沿った利用はされているのか ②本来の対象者は40歳以下だが、対象者団体、対象者以外の団体それぞれにおける部屋の利用割合は ③団体の目的を問わず、部屋の稼働率の状況は ④産業労働センターに機能を集約して、ユースプラザは速やかに廃止すべきと考えるが



ユースプラザ

**市民部長** ①設置目的は、おおむね達成されていると考えている。②21年度は目的利用が35%、目的外利用が65%。③21年度は軽体育室66・4%、第1講習室31・7%、第2講習室23・0%、和室11・1%、音楽室9・0%、調理室5・5%。全体で24・5%。

**市長** ④労働福祉審議会や利用者の意見を聞き、検討していく。

#### ◆入曽駅周辺開発

開発への良き理解者を増やすための入曽駅を利用する住民への広報広聴活動の重要性についての考えは。

### 入曽駅前整備は どうなっているの？

栗原 武 議員  
(未来フォーラム)

#### ◆安全・安心について

駅前の交通安全対策と災害に強い駅前づくりについて、市民への説明責任が不足しているようだが、また、駅前整備の事業区域内へのアクセス道路の渋滞解消についての考え方は。

**市長** 機会があるごとに安全・安心に向けたまちづくりを説明したい。アクセス道路は県道との交差点に右折帯を設けるなど、渋滞緩和を期待している。

#### ◆橋上駅舎と東西自由通路について

入曽駅を橋上駅舎化し、東西自由通路を建設した場合の試算額は。

#### ◆財政について

事業費は約100億円と言われているがその試算額の内訳と財源内訳は。また、駅前整備による便益性と財政的な負担とのバランスは。



道路が狭く危ない入曽駅前

**まちづくり推進部長** 公益施設整備費約8億円、移転移設補償費約72億円、その他約20億円と試算し、うち市単独費は約80億円と想定。市南部の地域拠点として再生しながら、商

業活動の活性化と良好な住環境の形成が図られ効果が得られると考える。

#### ◆地権者について

①地権者の高齢化問題と対策は ②地権者の精神的負担と不安の解消は ③経済的負担がある地権者の理解度は ④地権者目録での事業進捗の見通しは ⑤反対地権者の面積割合と動向は

**まちづくり推進部長** ①家族を交えた説明の場づくりなどに努めている。②全体の勉強会、戸別相談や訪問で、新たな理解が得られていると考える。③換地や減歩率の提示が求められている。④狭山市駅東口土地区画整理事業の事例で説明を行い、おおむね理解を得られていると認識している。⑤小学校用地を含む宅地面積で約34%、含まない場合で約43%の状況で、理解度は上がっていると考える。

#### ◆入間小学校について

平成13年除湿温度保持工事における防衛補助金の取り扱いは。また、閉校後の校舎・体育館・プールの取り扱いは。

#### ◆事業予定・事業手法・事業推進

土地区画整理事業による財政的な負担と事業期間の見通しは。また、何が事業推進の原動力と考えているのか。

**市長** 健全な財政運営で遂行できると考え、期間は10年から15年を想定している。事業の推進力は、地権者のまちづくりへの意欲と発意が重要と考えている。

### 手抜き検査の責任 養護老人ホーム

高橋ブラクソン久美子 議員  
(無所属)

#### ◆市内循環バスの路線の変更

①庁舎に来るバスは路線を変更しても確保すべきですが、いかがですか ②鶴ノ木方面のバスはなくなり、福祉施設へのアクセスが非常に悪くなりますが、どうしますか ③新しい路線はどうなりますか ④運賃を導入するのであれば、一日券を発行するべきですが、どうですか ⑤利用者や福祉施設との話し合いはどうだったのですか ⑥バスの変更をスムーズにするため、バスを4〜5台にしませんか

**市民部長** ①市民の意見や要望からコース設定をするもので、約40分以内での走行を図る必要から市役所への乗り入れは困難。②可能な範囲での調整は検討したい。③通勤者などの利便を図るため設定したもので、利用者は確保できると考える。④利用者の動向を踏まえ検討していく。⑤広報、ホームページでの意見募集や利用者の意見・要望を集約している。福祉施設との話し合いは行っていないが、全庁的な



市役所に茶の花号が来なくなる

見・要望を集約している。福祉施設との話し合いは行っていないが、全庁的な

対応の中で検討し施設を循環する計画とした。⑥経費負担の問題などもあり、現行の台数で利便性を図っていく。

#### ◆後期基本計画

市民協働を強調するならば市民、執行部、議会の役割を自治基本条例に明文化すべきですが、どうですか。

#### ◆狭山市に養護老人ホームの設置を

狭山市には養護老人ホームがなく、他市に住まざるをえません。身寄りのない老人が狭山市に住めるように、養護老人ホームを設置してください。

**市長** 現在は有料老人ホームやケアハウスも整備されつつあり、養護老人ホームの需要は低下してきている状況などを総合的に勘案し、養護老人ホームを設置することは考えていない。

#### ◆けじめと責任をはっきりさせる

環境部で廃棄物を違法に埋め、告発されていますが、けじめと責任をはっきりさせるべきです。また、事務執行上、上司に相談もなく手抜き検査をした下水道職員を配置転換し、上司の責任も明確にするべきですが、いかがですか。

**市長** 責任については、事務事業の実態把握と進行管理、職員への指導、指揮監督を徹底する。今回の検査に関することは、まことに遺憾であり、職員に厳重注意、再発防止に努めるよう指示したところである。